

# 花背モニタリング調査 — 10月の報告（場所は花背山村都市交流の森） —

日時：2020年10月23日（火）

天気：雨のち曇り

参加者：10人

当日は、黄葉も始まり秋冷えの下、今後予定されている森ヨガのイベント下見を兼ねて行いました。

今回の場所は、自家用車とは別に京阪出町柳駅から京都バスを使って鞍馬街道（鞍馬神社、花背峠）を通って約90分で行ける場所です。当施設には宿泊やBBQ施設も完備されており、事務所で無料配布されるパンフレットには多様な観察ルートが示された地図が準備されていました。

当日の観察ルートはセンターエリアから展望の森を歩くコースです。

展望の森ではシカの影響を受け一面アセビの群生でしたが、そんな中でもミヤママコナノ群生やアキノギンリョウソウが足元からよきよきと現れていて踏まないように気を付けて進みました。

途中の観察路では、オタカラコウ、アケボノソウ、アキチョウジ、ハナタデ、アキノキリンソウ、オハラメアザミ、ツルアリドオシ、ツルリンドウ、オオウラジロノキ、クロソヨゴなどの他にきのこ類も色々を見つけましたが、特に猛毒のドクツルタケ（欧米では「破壊の天使」や「殺しの天使」の異名をもつ）をこんな身近で見つけて驚きでした。私達の行く手ににらみを利かせて待っていたヒキガエルの写真も載せておきます。

10月下旬という時期でしたが多様な観察ができ、一年を通じて四季折々の草花や動物に触れあう事ができる自然豊かな場所と感じました。

以上（古結）



黄色く色づいたモミジ



出発です



ヒキガエル



オタカラコウ



ドクツルタケ